備陽史探訪の会

1月・2月行事日程一覧

1月18日（日）【測量調査】（要申込）
山手銀山城測量調査４

1月24日（土）【記念講演会】（出欠は同封の返信ハガキで）
「福山藩の農民はどのように年貢を負担したか」（勝矢倫生氏）

1月24日（土）【総会】&【新年会】（出欠は同封の返信ハガキで）
「遺族会館にて」

1月30日（金）【創立35周年記念事業】（要申込）
中世石造物調査12「田尻町」

2月7日（土）【ぶら探訪27】（要申込）
「笠岡を歩く Part ２」

2月8日（日）【測量調査】（要申込）
山手銀山城測量調査５

2月22日（日）【バス例会】（要申込）
「戦国の梟雄・宇喜多氏の城郭を行く」

2月27日（金）【創立35周年記念事業】（要申込）
中世石造物調査13「神村町４」

1月10日（土）【近世・近代史部会】「近世福山を読む」
1月17日（土）【中世史部会】「中世を読む」
1月30日（金）【古文書講座】「古文書入門」
2月14日（土）【近世・近代史部会】「近世福山を読む」
2月21日（土）【中世史部会】「中世を読む」
2月27日（金）【古文書講座】「古文書入門」
2月28日（土）【古代史部会】「古墳講座」

◎１月の「古文書入門」は第５金曜日です。
◎１月の「古墳講座」はお休みします。

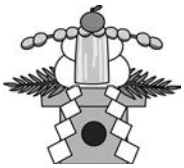
事務局便り

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申上げます。今年は、いよいよ備陽史探訪の会創立35周年になります！今年もより飛躍できる年になりますよう、よろしくご協力・ご参加のほどお願い申上げます。

さて、１月は恒例の「総会」です！会員の皆様はぜひ、ご参加ください。参加できない場合は、必ず返信ハガキにて委任状をお願いいたします。備陽史探訪の会は民間の団体です。スタッフの奉仕と会員ひとりひとりのご協力・ご参加で成り立っています。なお、このたびは年会費納入の振込み用紙も同封しておりますので、お忘れなきようお願い申上げます。

2015（平成27）
行事案内
１月号

備陽史探訪の会の目的
備後を中心とした地域の歴史を研究し、愛郷の精神を涵養する。
（会則第１章第２条より）



行事参加のお申込は

「要申込」のある各行事参加の申込は以下のいずれかよりお申込ください。
◎公式サイトの参加申込フォーム
「http : bingo-history.net」
◎事務局へメール
[info@bingo-history.net]
◎事務局へFAX
[084-953-6157]
◎田口会長宅へ電話
[084-953-6157]

〔備陽史探訪の会事務局〕
〒720-0824
広島県福山市多治米町5-19-8
TEL&FAX 084-953-6157
E-mail info@bingo-history.net

公式サイト
http://bingo-history.net

新年明けましておめでとう御座います。

会員の皆様にはお健やかで新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

今年は備陽史探訪の会にとって創立35周年の節目に当たる重要な年です。昭和55年9月、5名の仲間でスタートした本会は、会員の皆様のご協力と多くの皆様のご支援に支えられて、今や会員300名を擁する全国的にも指折りの郷土史研究会となりました。改めて皆様には御礼を申上げたいと思います。

さて、本会は、創立以来5年の節目ごとに記念の行事と事業を行なってまいりました。今回は9月に創立記念講演会を開催するとともに、3年前から行なってきました福山市内の中世石造物の調査のまとめとして冊子を発刊する予定です。どうかこの一年の活動が実りあるものになりますよう、ご協力をお願いして、新年のご挨拶とさせて頂きます。

平成27年正月

備陽史探訪の会会長　田口義之

年会費納入のお願い

備陽史探訪の会は会計及び各行事などすべて１月１日始まり 12 月 31 日で締める暦年で活動しています。

平成 27 年分の年会費納入用の振込取扱票を今回の行事案内に同封しております。２月末までにお振込みをお願い申し上げます。

一般会員　4,000 円　　夫婦・親子会員　5,000 円

大学生・専門学校生会員　2,000 円

何卒、よろしくお願いいたします。

1 月 24 日(土)　新年恒例

記念講演会

ハガキで返信

【日　時】　1 月 24 日（土）午後 1 時 30 分～
【場　所】　備後遺族会館（丸之内）
【演　題】　『福山藩の農民はどのように年貢を負担したか
—阿部氏治世期福山藩徴租法の探求—　』
勝矢　倫生　氏（尾道市立大学名誉教授）

※会員でない方も入場できます。（会費無料）
事前申込不要。直接会場で受付いたします。

福山藩の地方書「郷中覚帳」を中心に、他の地方書もあわせて解析することを通して、阿部氏治世期の福山藩における水田稲作に対する租税徴収の仕組みについて、お話ししていただきます。
勝矢教授は、著書『広島藩地方書の研究』の他にも、「福山藩における藺田徴租法」や「徳川期における耕地水害復旧支援策の展開構造：福山藩起こし鍬下年季仕法の分析を中心に」「福山藩における屋敷地徴租法」など福山藩の徴租法についての論文も多く発表されています。福山藩の農村がどのような仕組みだったのか、また地方書をどのように見て、何を学び取っていくのか、など広い意味でも近世農村社会を学ぶ上で必要な手掛かりを知る機会になると思います。
なお、4 頁に勝矢教授よりのメッセージを掲載しております。あわせてご覧ください。

総　会

ハガキで返信

【日　時】　1 月 24 日（土）午後 3 時 45 分～ 4 時 45 分
【場　所】　備後遺族会館（丸之内）
【議　題】　◎平成 26 年度事業報告
◎平成 26 年度決算報告
◎平成 27 年度行事計画
◎平成 27 年度予算案
◎その他

新年会　総会終了後、開催。

ハガキで返信

【日　時】　1 月 24 日（土）総会終了後、開催します。
【場　所】　備後遺族会館（丸之内）
【会　費】　2,000 円（飲み物付）

それぞれの出欠について、同封のハガキで
1 月 20 日までに必ず返信お願いいたします。

1月24日備陽史探訪の会記念講演会に寄せて

「福山藩の農民はどのように年貢を負担したか —阿部氏治世期福山藩徴租法の探求—」

尾道市立大学名誉教授　勝矢　倫生

私はこれまでほぼ35年間にわたり、徳川期芸備地域の地方書（じかたしょ）の研究に取り組んできました。初期の20年間、広島藩の地方書研究に取り組んだ後は、もっぱら福山藩の地方書研究に没頭してきました。地方書とは、天領あるいは諸藩の地方役人や庄屋などの村役人によって、農政を進め、農村を治めるための指導書あるいは実務マニュアルとして活用されることをめざして記された著書のことを言います。地方書は、租税徴収法のほか、農村支配・農村生活全般に及ぶ多彩な内容を含む、徳川期の農政・農村の実状を探る上できわめて貴重な研究素材です。

今度の講演では、福山藩の地方書「郷中覚帳」を中心に、「郡中町方明細記」など他の地方書も併せて解析することを通して、阿部氏治世期福山藩における水田稲作に対する租税徴収の仕組みについてお話しさせていただきます。福山藩では、水野氏・松平氏時代には、徴租法として検見制が採用されていましたが、阿部氏は土免制を採用しました。土免制の下で年々の年貢率は固定されましたが、凶作年度に限り、農民は申請すれば検見見分を受け、一定の引高が認められ、年貢を減免してもらうことができました。また、水害・旱魃などで皆損、つまり稲が壊滅状態になった時、一毛荒（ひとげあれ）の申請を行ない、藩役人の見分を受け、許可されれば年貢の丸引きが認められました。一村坪入検見から人別作平均検見へ、さらに相対検見へ、凶作年度に実施される検見の仕法にも推移がみられました。

福山藩では、米作以外に綿作・藺作・麦作・稗作など多様な作物作付けについてそれぞれきわめて精緻な徴租法が構築されていました。福山藩の地方書研究を進めた結果、これまでほとんど研究が進んでいなかったそれらの諸作物に対する徴租法をかなり詳細に明らかにすることができました。今度の講演では、米作に対する年貢徴収法に絞って、その仕組みをなるべく平易に噛み砕いてお話しさせていただくつもりです。備陽史探訪の会の皆様にお目にかかれる時を楽しみにしております。

1 月 30 日(金)　創立 35 周年記念事業

中世石造物調査 12

今年度の第１回目は、田尻町を調査します。事前の田尻町における所在確認や調査カード作成をお願いします。

要申込

【集　合】 午後１時 30 分
高島小学校正門前（田尻町 2248 番地）

【その他】
※雨天の場合は中止し、後日実施。実施可能かどうか、微妙な天気の際は、田口会長宅へ電話での確認をお願いします。
※なお、２月 27 日（金）は神村町で実施する予定です。

1 月 18 日(日)　測量調査

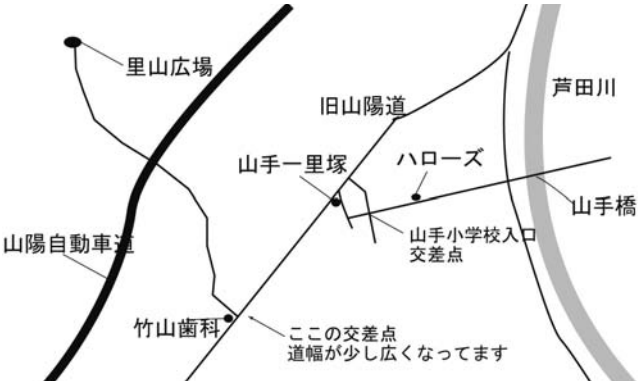
山手銀山城測量調査4

山手銀山城の測量調査が始まります。測量してみたい方、見学だけの方、初めての方の参加も歓迎です！

要申込

【集　合】 午前９時
津之郷里山広場（弘法の水手前）

【その他】
※午後４時頃解散予定。
※お弁当・飲み物・筆記用具を持参してください。
※雨天の場合は中止します。
※２月は８日（日）に引続き実施予定。



☆「弘法の水」駐車場を目指してください。その手前に「里山広場（小さい空き地）」があります。そこに集合してください。
☆「旧山陽道」「弘法の水への道」一部非常に狭い道幅となっております。車の運転にご注意ください。

びんご路写真クイズ４答え

①「水野公園」福山市若松町

ＪＲ山陽本線の東 10 番ガード北の交差点の角にあります。この公園の西隣にあるのが、水野勝成墓所です。そのため、水野公園と呼ばれているようです。

もとは賢忠寺の境内でしたが、昭和 32 年の都市計画で分断されました。その折りに、西向きに建っていた勝成の墓は現在の場所に南向きに移されました。

東側が公園になった経緯は知りませんが、葉陰を揺らす大樹や、大イチョウに見守れるようにした公園には、子どもたちやお年寄りの声が響いています。

②「明泉寺」福山市駅家町

駅家町倉光にある明泉寺（みょうせんじ）。もとは御調郡向島にあり聖徳太子の開基とも云われていますが、慶長元年 45 世の智箭が駅屋倉光に寺を遷したそうです。智箭は林羅山に学び、水野勝成とは俳諧の友であり、多くの歌を残しています。この明泉寺でも、連歌の会が催されていたようです。

宗休（勝成隠居後の号）と智箭の連歌も今に伝わっています。きっと勝成も、この明泉寺を訪れたことでしょうね。

2月7日(土) **ぶら探訪 27** **要申込**

笠岡を歩く Part2

【集　合】 午前９時
ＪＲ笠岡駅（からくり時計前）
（福山駅８：30 発→笠岡駅８：45）

【参加費】 100 円（会員）　300 円（一般）
【募集数】 50 名
【講　師】 網本　善光（古代史部会長）
【見学地】
①笠岡の蔵屋敷群　②笠神社
③木乃美教本部　④陣屋稲荷
⑤その他（江戸期の名代官「井戸平左衛門」、明治期の翻訳王「森田思軒」ゆかりの史跡など）

【その他】
※飲み物持参、歩きやすい服装・靴で参加。
※解散は 12 時頃、ＪＲ笠岡駅前。

中世から近世・近代と、門前町・港町として栄えた「笠岡」。江戸時代初期の水野家の藩領の時代には新田開発も行われ、福山とは縁深い町ながら「意外と知らない」町。その笠岡の中心市街地をめぐる「ぶら探訪」の第２回。今回は、笠岡の氏神様「笠神社」を中心に、市街地の東部をめぐります。

行事・運動企画　びんご歴史クイズ７

① 新年の記念講演は勝矢先生です！次の文献資料の内、「地方書（じかたしょ）」と呼ばれるものは？
イ） 備後古城記　ロ） 芸藩通志　ハ） 郷中覚帳　ニ） 久代記

② 山手銀山城測量調査続行中！次のうち、山城の要素でないものは？
イ） 切岸　ロ） 曲輪（郭）　ハ） 堀切　ニ） 天守閣

③ ２月のバス例会楽しみですね。さて、宇喜多直家の居城でなかった城はどれでしょう。
イ） 岡山城　ロ） 備中高松城　ハ） 亀山城（沼城）　ニ） 乙子城

④ 「笠岡を歩く」で訪れる笠神社のある笠岡古城山。その城主でないのは誰でしょう。
イ）村上隆重　ロ） 池田長幸　ハ） 村上景広　ニ） 陶山義高

⑤ 今年は創立 35 周年ですが、備陽史探訪の会創立当初のメンバーの数は？
イ）10 人　ロ） 8人　ハ） 5人　ニ） 3人

２月 22 日(日)　バス例会

戦国の梟雄
宇喜多氏の城郭を行く

要申込

【集　合】 午前８時
福山駅北口観光バス乗り場※雨天決行

【参加費】 3,800 円（会員） 4,300 円（一般）

【募集数】 43 名

【講　師】 佐藤　貴洋（中世史部会）

【その他】
※弁当・飲み物持参、歩きやすい服装で。
※午後５時半帰着・解散予定です。

備前岡山城を現在のような近世城郭に改修した宇喜多氏。その始祖と言っていい宇喜多和泉守直家は、一代で備前の戦国大名に成上がった典型的な戦国武将の一人です。

しかも、舅殺し、婿殺しなど目的の為には手段を選ばない、正に戦国の梟雄に相応しい、波乱万丈の生涯を送っています。しかし、その一方家臣には慕われ、領民に敬われ、全国に先駆けて「総石垣造り」の城郭を築くなど、先進的な一面も持っていました。

今回は、この宇喜多氏の遺跡を中世史部会のホープ佐藤貴洋君に案内してもらいます。ご期待ください。

【主な見学地】

沼城跡（岡山市東区）
天文年間、宇喜多直家の舅中山信正の居城であったが、永禄２年（1559）、直家は主君浦上宗景の命により、信正を謀殺、城を奪った。直家は岡山城に移るまで１５年間この城に居城した。

福岡の市跡（瀬戸内市長船町）
「福岡千軒」と呼ばれた中世の市場町の跡。妙興寺には黒田官兵衛の曽祖父高政、宇喜多直家の父興家の墓がある。

乙子城跡（岡山市東区）
吉井川の河口に築かれた海賊城。天文１３年（1544）、主君浦上宗景より知行 300 貫、足軽 30 人を与えられ、初めて城主になった城として有名。以後直家は戦国大名への道を駆け上っていった。

岡山城（岡山市北区）
言わずと知れた備前池田氏３１万石の居城。天守閣が下見板張りであったことから「烏城」とも呼ばれる。戦国時代、金光宗高の居城であったが、天正元年（1573）、宇喜多直家が宗高を謀殺して城を奪い居城とした。当時は石山城と呼ばれた小規模な城郭であったが、直家、その子秀家の二代にわたって大改修し現在のような姿となった。

我が
自慢の城々をとく
とご覧あれ。
福岡の市は、わしが商工業
者は岡山城下へ引き抜くま
では大層栄えておった
ぞ、ははは！！

バス例会のキャンセルについて
３日前のキャンセルはキャンセル料は不要ですが、３日から２日前のキャンセルは参加費の半額、当日のキャンセルは参加費の全額を申し受けます。

会員の皆様へ

このたびの行事案内には、「総会・新年会出席返信ハガキ」「年会費納入用振込用紙」を同封しております。その他にも広島県立歴史博物館の催し物のチラシ２枚も同封しております。それぞれ、よろしくお取り計らいの程、お願い申上げます。

備陽史探訪の会

古代史部会

「古墳講座」（第 358 回）

◆2月 28 日（第 4 土）午後7時～
◆福山市民参画センター
◆講師　網本善光（部会長）
【内容】古墳から寺院へ（日本の古代国家の成立を考える①）
※資料代 100 円が必要です。

中世史部会

「中世を読む」（第 327 回）

◆1月 17 日（第3土）午後2時～
◆福山市民参画センター
◆講師　矢田貞美
【内容】「古志元清の厳島神社寄進の太刀について」

◆2月 21 日（第3土）午後2時～
◆福山市民交流館
◆講師　佐藤貴洋
【内容】「備前の覇者・戦国宇喜多氏の興亡」
※翌日のバス例会の事前学習会を兼ねています。
（バス例会に参加しない方も出席できます。興味のある方はどうぞ！）
※会場は市民参画センターではありません。ご注意ください！車は参画センター第２駐車場をご利用下さい。

近世・近代史部会

「近世福山を読む」（第 23 回）

◆1月 10 日（第2土）午後2時～
◆講師　高木康彦（部会長）
◆福山市民参画センター
【内容】
福山城が完成した元和 8 ～ 9 年の福山藩の動きを紐解きます

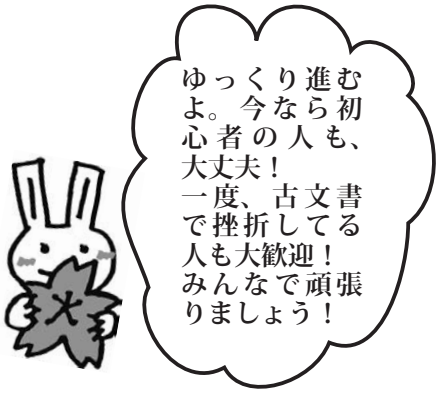
◆ 2月 14 日（第2土）午後2時～
◆講師　高木康彦（部会長）
◆福山市民参画センター
【内容】
（予定）第一回福山城下町の形成

古文書講座「古文書入門」

初回のみ **要申込**

◆1月 30 日（金）（第5金）午後 7 時～
◆場所　福山市民参画センター
【内容】「神嶋町旧記」を読む

◆2月 27 日（金）（第4金）午後 7 時～
◆場所　福山市民参画センター
【内容】「神嶋町旧記」を読む



会報 182 号原稿募集！

2月発行の会報 182 号の原稿を募集しています。備後郷土史に関するものは何でも差支えなし。論文・論考・資料提供・絵・写真・俳句・随筆・昔語り・質問、他、例会報告など会員の皆様の投稿をお待ちしております。1月 16 日（金）までに事務局編集部まで。規定は 16 文字× 120 行。（論文・論考は 16 文字× 244 行程度）

備陽史探訪の会

【事務局】
〒720-0824　広島県福山市多治米町5-19-8
TEL&FAX　084-953-6157
E-mail　info@bingo-history.net

公式サイト
http://bingo-history.net